



2019年9月25日

報道関係各位

松本大学教育学部特別企画
「みんなの学校」上映会のご案内

拝啓

清秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

さて、本学教育学部が主催する映画上映会を別紙のチラシのとおり開催します。自主映画でしか観られない話題作を、大学祭『梓乃森』に合わせて上映する運びとなりました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本上映会について報道関係各社を通じて地域の皆様に広くご紹介頂くとともに、当日の取材をよろしくお願い致します。

敬具

記

【上映会の日程】

日 時：2019年10月12日（土）

1部 10：30～12：20 （受付10：00～）

2部 13：30～15：20 （受付13：00～）

場 所：松本大学 232教室（2号館）

入場は無料です。

【ご参加方法】直接会場へお越しください。

【お問い合わせ先】

〒390-1295 松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7200（代表）

ふつうの公立小学校の みんなが笑顔になる挑戦

松本大学教育学部特別企画

映画上映会

数々の賞を受賞した
ドキュメンタリー映画

入場無料

大空は
明日へつづく

文部科学省特別選定

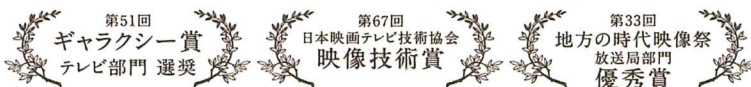
みんなの学校

出演：大空小学校のみんな

監督：真鍋俊永 ナレーション：豊田康雄 企画：迫川緑 プロデューサー：中尾雅彦 加藤康治 兼井孝之
撮影：大窪秋弘 撮影助手：堀貴人 編集：北山晃 編集協力：秦岳志 整音：中嶋泰成 音響効果：萩原隆之 題字：谷篤史
製作：関西テレビ放送 配給：東風

2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | ドキュメンタリー © 関西テレビ放送

minna-movie.com



松本大学大学祭
『梓乃森祭』
同時開催

[日時] 2019年 10月12日(土)

1部 10:30~12:20 (受付 10:00~)

2部 13:30~15:20 (受付 13:00~)

[会場] 松本大学 232教室(2号館)

松本市大字新村2095-1 TEL0263-48-7200(代)

【会場のご案内】

[お車] 松本ICから国道158号線を
上高地方面へ向い5分

[電車] JR「松本駅」より松本電鉄上高地線
「北新・松本大学前」駅下車
徒歩2分



学校法人松商学園

松本大学

www.matsumoto-u.ac.jp

松本大学 検索

すべての子どもたちの明るい未来に向けて……

自主上映でしか観られない話題作を、この機会にぜひご覧ください。



すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もしっかりになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



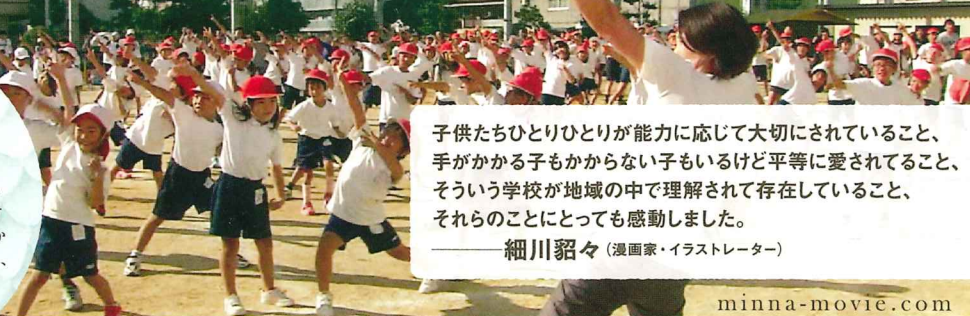
驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜し気もなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

——尾木直樹（尾木ママ）教育評論家／法政大学教授

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

——20代・女性（大学院生）

平成25年度（第68回）文化庁芸術祭大賞 受賞理由
他の地域では厄介者扱いされていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長している姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革でもある。



子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されていること、そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、それらのことにとっても感動しました。

——細川昭々（漫画家・イラストレーター）

minna-movie.com

【ご参加方法】 直接会場へお越しください。

【お問い合わせ先】 松本大学教育学部教職センター
TEL.0263-48-7200(代表)

主催 松本大学教育学部

●ご来場の際してのお願い

ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。当日大学祭開催のため駐車場の混雑が予想されます。満車の場合は臨時駐車場へまわっていただきますので、予めご了承ください。